

令和4年度第1回気象庁入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所		令和4年9月27日(火) 気象庁会議室1	
委員		委員長 遠 藤 和 義(工学院大学教授) 委員 楠 森 啓 太(弁護士) 委員 安 田 恵 (公認会計士)	
審議対象期間		令和3年10月1日～令和4年3月31日	
契約の現状の説明等		入札・契約手続の運用状況等の報告	
総抽出案件		5件	〈 備 考 〉
工事	一般競争	3件	
	指名競争	0件	
	随意契約	1件	
建設コンサルタント業務等	一般競争	0件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
物品・役務等	一般競争	1件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

意見・質問	回答
1. 入札・契約手続の運用状況等の報告	
一者応札かつ100%落札となった契約のうち、特に工事契約におけるものについては今後検証を行い、改善に努めること。	承知した。
2. 線状降水帯予測スーパーコンピュータの購入・取付調整及び保守並びにハウジングサービスの提供 (気象庁本庁) 【物品・役務等、一般競争入札】	
仕様書案に対する意見招請に対して、CPUメーカーも意見を提出している。 スーパーコンピュータそのものを製作している会社だけでなく、部品会社の意見も仕様書に反映させることにどのような意義があるのか。 予定価格作成にあたって、業者からの見積額に対して一定の割引率をかけているが、その割引率に妥当性はあるのか。 割引率は予定価格の大事な算定要素なので、市場の状況等を考慮し、適切な予定価格の作成に取り組んでもらいたい。 また、複数者応札とするための努力も忘れないでもらいたい。	広くCPUメーカーからも意見を聞き仕様書に反映させることで、スーパーコンピュータを製作する業者が調達するCPUの選択肢を増やすことができるため、調達の公平性や競争性が向上し、更には、より高性能のスーパーコンピュータの調達が可能になると考えている。 割引率は、当該業者との過去の取引価格等を基に算出しているが、その都度見直ししており、妥当なものであると考えている。 頂いたご意見を踏まえ、引き続き適切な予定価格の作成、一者応札改善に向けての取り組みを推進していく。
3. 気象庁清瀬第三庁舎電源設備改修工事(気象庁本庁) 【工事、一般競争入札】	
低入札価格調査を実施しているが、調査の内容はどのようなものか。 例えば、損益計算書等の決算書類から読み取れる、去年までの活動状況なども確認しているのか。 応札者4者のうち3者が基準価格を下回っているということとは、予定価格が高すぎたのではないか。	落札者に所定の資料を提出させて調査するとともに、過去に受注した工事の発注元に不良工事の有無を確認したり、落札者が無理なダンピング価格で入札するような経営状況にないかを金融機関にヒアリングするなどしている。 今後、ご指摘いただいた点も参考にし、より適切な調査をしてまいりたい。 予定価格は国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築工事積算基準等を基に算出しており、適正なものであったと考えているが、市場調査について見積書を徴取する対象をもっと幅広くするなど、より直近の実勢価格に近づけることができるよう、改善に努めてまいりたい。

意見・質問	回答
4. 大型気象風洞実験装置及び回転実験装置の機能強化工事(気象研究所) 【工事、随意契約】	
随意契約としているが、想定し得る競合業者はなかったのか。 新規に製作するのではなく、製作から40年以上経過している当該装置を改修する方がよいと判断した理由は何か。 競争が働かないという状況下で、どの様に予定価格を作成したのか。業者の言い値ではないのか。	装置を新規に製作する場合には、契約業者以外にも受注可能な業者はあるが、それらの業者に対して事前に調査したところ、本件のように他業者が製作した装置に改修を加える場合には受注不可であるとの回答を得ていたところ。 また、参加者の有無を確認する公募手続も行ったが、やはり応募者はゼロであった。 当該装置は機械等の稼働部分と、それ以外で構成されており、稼働部分以外については、定期的なメンテナンスにより劣化を防ぐことができ、今後も使用可能であることから、劣化が激しい稼働部分のみを更新することが適当であると判断したもの。 見積書をそのまま予定価格としているわけではなく、所定の査定を加えるとともに、客観的に積算される工事の歩掛かり等も組み合わせて予定価格を作成しており、決して業者の言い値ではない。
5. 新潟地方気象台 弥彦山気象レーダー一局舎建替工事(東京管区気象台) 系数気象レーダー一局舎建替工事(沖縄気象台) 【工事、一般競争入札】	
同種の工事で、系数が応札者多数であったのに対し、弥彦山では一者応札となっている。その理由をどのように分析しているのか。 弥彦山は、建設業者がいない離島の工事と言うわけではないので、もっと多くの業者に参加してもらうような取組が必要ではないか。 また、再度公告や再度入札でもない1回目の入札にしては落札率が非常に高いと感じるので、この種の案件については、その理由等についてしっかりと点検してもらいたい。	弥彦山は系数とは異なり、豪雪地帯の山頂での工事で、かつ大型重機が使用できず工法に制限がある点、予定価格との関係で入札参加資格を拡大できなかった点が応札者が少なくなった原因であると考えている。 今後も引き続き、一者応札改善、適切な予定価格の作成に向けた取り組みを推進していくとともに、高落札率案件についてきちんと点検してまいりたい。
6. 審議の結果	
・是正を求めるような事案はなかった。 ・審議を通じ、予定価格の積算や競争性の向上などについて、意見や留意点を何点かお伝えしているので、それらを今後の適正かつ公正な入札手続を進めてくために役立ててもらいたい。	